



横浜市立岡村小学校・学校だより R元.6.28 学校ホームページURL <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/okamura/>

保護者や地域の皆様と創る岡村小・教育活動未来図(新教育課程編成)進捗状況～宿泊体験学習等学校行事の実践と学力向上APの立案～

校長 さいとう ともあつ 齋藤 有厚

6月23日(日)から2泊3日で、片品・日光宿泊体験学習(修学旅行)へ行ってきました。家や学校を離れて過ごす教育活動は、子どもたちを飛躍的に成長させるチャンスであることを再確認しました。うどん作りなどでは困っている友だちへやさしく声をかけていた子どもたち、片品村でお世話になった皆様へ心のこもった挨拶をした子どもたち、東照宮でのグループ行動ではルールと時間を守った子どもたち…。新年度になって、岡村オリンピック、さらに、修学旅行を友だちと教員と創り上げてきた一体感、達成感(自信)は、子どもたちの財産です。子どもたちの成長には、欠かせない教育活動です。次年度につなげる学校行事を実践しながら見直していますが、こうした取組は、保護者の皆様にご負担をおかけします。ご意見・ご要望があればお知らせください。学校行事の再構築をていねいに進めます。

さて、本校の令和元年の教育プラン、「豊かな心育成プラン」と「学力向上アクションプラン(学力向上APと略記)」を添付・報告します。学力向上アクションプランは、昨年度の市学力・学習状況調査等を基に作成したものです。その特徴は、次の2点です。

○ 自分づくり教育(キャリア教育)で育てたい資質・能力及びそれを育成するための授業づくりを大切にすること。例えば、授業づくりを10の視点で構想するなど(①学習の見通しをもたせる、②めあてや目的に沿った振り返り、③人との関わり、④多様な集団の構成、⑤豊かな体験活動、⑥地域教材の活用、⑦話し合い活動、⑧ツールの活用、⑨学習形態の工夫、⑩場の設定の工夫)。

○ オリンピック・パラリンピック教育の目標や4×4の取組(「縦軸-オリ・パラ精神、スポーツ・障害者スポーツ、文化、環境」、「横軸-学ぶ、観る、する、支える」)の16のマトリックスの中に位置づけられる教育活動を積極的に取り入れること。例えば、「特別の教科 道徳」の授業に、「向上心」をテーマにオリンピック選手を教材化することなど。※9月12日に公開授業を計画中。なお、上記の2点を含む学力向上APを実現するためには、チーム岡村(教職員集団)だけの力では不可能です。子どもを取り巻く様々な大人の力が必要です。IUI、AET、理科支援員、学校司書、ICT支援員、職員室業務アシスタント、教育支援員(大学生など)。そして、地域交流クラブ、読み聞かせボランティア、教育活動サポーター等保護者や地域の皆様。読み聞かせボランティアや教育活動サポーターは常時募集しています。ぜひご参加を!!!

ところで、7日(日)からは2泊3日の5年宿泊体験学習を実施します。伊豆子浦の海体験が5年生を大きく成長させるはずです。5年生の保護者の皆様、ご期待ください。そして、お弁当や暑さ対策グッズ等の準備、よろしくお願ひします。この活動には、2名の教育支援員(元教員と大学生)に入ってください。※詳細については、学力向上APでご確認ください。